月例報告：令和３年４月

新型コロナの状況ですが、3 月下旬から新規感染者数は残念ながら拡大の傾向です。これに対抗するかのように、ワクチンの接種は 4 月に入り、接種のペース、方法を工夫して接種を受けた人の数が増加してきています。日本国内でも、医療従事者の方や 65 歳以上の方へのワクチン接種が進められています。皆様におかれましては、お住まいの地区の情報に従い、新型コロナウィルス対策を引き続きよろしくお願いします。

幸い今年のトロントの冬は短めで、積雪も例年よりは少なめでした。21 日、トロント市内でも積雪がありましたが、これが今年最後の雪でしょう。咲き始めた桜の花に雪がかかる風景は寒いながらも穏やかな美しさがありました。過去 2 年ほど、オタワの厳しい冬を経験した身としては安堵しております。また、日本では今月、桜の開花のニュースで持ちきりでした。何十年かぶりの早い満開を迎えたところも多いようでした。新型コロナウィルスの影響は未だ甚大ですが、自然は人間の営みに関係なく進んでいきます。

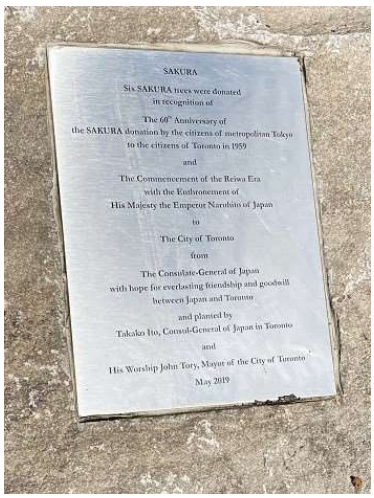
そして、ここトロントでもいよいよ桜の開花が始まりました。

今月は、トロントと桜の関係について、皆さんにお知らせしたいと思います。

トロントで最も有名は桜の名所は、ハイ･パークです。ここは市が管理する公園であり、広大な敷地の中に、トロント動物園などがあります。1959 年、第二次大戦後多くの日系人の移住を受け入れたトロント市民に感謝の意を示すために、東京都が 2 千本の桜を寄贈しました。当時の萩原徹駐カナダ日本大使が、ハイ・パークに植樹したのが始まりでした。第二次大戦中、強制収容の措置を受けた日系人の方々の苦難は今でも語り継がれています。彼らは戦後も差別を受け、元々の居住地であった B.C.州などに戻ることができない方々は、ここトロントに居を構えたのでした。

その後、1984 年、日本人で出版などの事業を手がけられた岩崎夫妻が更に植樹を行いました。2001 年には、在トロント日本総領事館が中心となり「桜プロジェクト」を立ち上げ、公園内の新たな場所に植樹を行うとともに、1959 年に植樹された場所近くにも桜の木々を増やしたのでした。最近では、植樹６０周年を記念して２０１９年（令和元年）にさらに植樹が行われました。

これらの背景があるハイ･パークの桜ですが、今ではすっかり春先のトロントの風物詩となっています。特に近年、SNS の発達もあり、トロント市民の間で人気が高まり、満開の頃にはほとんど身動きがとれないぐらいの人混みとなります。コロナ禍の影響で昨年、は市が運営するサイトでのバーチャル花見となりました。今年は、ハイ・パークは閉鎖はされていませんが、トロント市はバーチャルも用意して、オンラインでの鑑賞を推奨しています。



「桜プロジェクト」の目標は、3000 本の桜をトロント周辺を始め、オンタリオ州中に植えることでした。このプロジェクトは、その後 2012 年まで継続され、トロント内外の 60 近い場所に桜の植樹を行ったのでした。

この結果、トロント近郊では、トロント大学やヨーク大学のキャンパス、また日系文化センター、、センテニアル公園などでも桜を楽しむことができます。 オンタリオ州にも展開され、有名なナイアガラの滝に向かう道にも植樹されました。

(Photo: Paul Whittam & University of Toronto)

(Photo: Stephen Qiao & University of Toronto)

Trinity Bellwoods Park

Exhibition Place

「桜プロジェクト」では、オークビル（寝屋川市の姉妹都市）やミシサガ（刈谷市の姉妹都市）など、日本と姉妹都市にある多くのオンタリオ州の自治体に桜の植樹を行いました。日本の自治体もまたカナダの姉妹都市に桜の植樹を行っています。トロント市と姉妹都市の相模原市は、２０１５年と２０１６年に、スカボロー地区の Birkdale Ravine に４５本の桜を植樹しました。藤沢市は、２０１７年に、ウィンザーの Jackson 公園に桜を寄贈をしました。東京都の板橋区は、バーリントン市に桜を寄贈しました。 最近では、篤志家でもあるジェームズ松本、チャコ瀬戸山さんが桜の植樹を続けておられます。

カナダの国土は広大であり、緯度が高いこと、気候風土の関係から、どこでも桜の植樹が可能というわけではありません。オンタリオ州も北部の方ですとなかなか育ちにくくなります。そのような自然条件のなかで、多くの場所で桜が育ち、市民に憩いの場を提供していることは非常に幸運なことです。いうまでもなく桜は日本の象徴の一つでもあり毎年、長い冬を越えて春先に満開となる桜は、市民に生活の潤いと将来への希望を与えているといえます。トロントの桜には、上記のような経緯もあり、カナダと日本をつなぐ歴史的な意義を有しているといっても大げさではないでしょう。これは日加両国にとって非常に大切な財産にもなっていると思います。将来にわたり、この貴重な資源をまもり、更に発展させていきたいと思います。

在トロント日本国総領事
佐々山　拓也